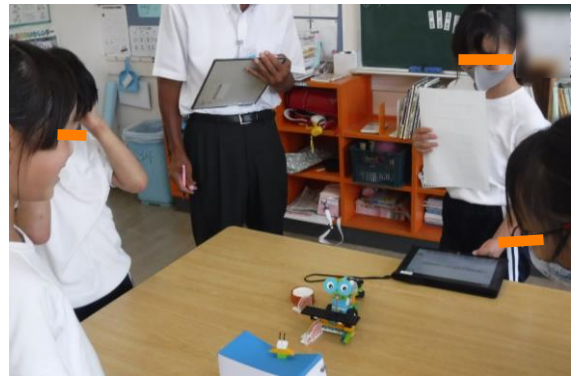


小学校プログラミング教育実施レポート

令和2年度から必修化された小学校プログラミング教育の実施の様子を紹介するものです。
未来の学びコンソーシアムにて実施内容の精査を行うものではありません。

学習活動名	プログラミングで沼島の課題を解決しよう
学年	小学校第3・4学年（複式）
目標	自分の住んでいる沼島の地域の課題を考え、それをプログラミングを使って解決する方法を考える。
教材タイプ	ビジュアル言語・タンジブル
使用教材	LEGO WeDo 2.0
環境	児童5人で5台の端末を使用
都道府県	兵庫県
実施校	南あわじ市立沼島小学校
学習活動の概要・児童の様子(プログラミングの活動を中心に記載ください。)	<p>① 自分の住んでいる地域の課題をできるだけたくさん出させる。</p> <ul style="list-style-type: none">○ イノシシ被害○ 海洋ゴミ問題○ 高齢者問題○ 道ばたのゴミが多い問題 <p>② その中から自分の解決したい問題を選ぶ。課題を解決するロボットを考える。ロボット名・その仕組みを考える。(事前にレゴの仕組みは学習済み)</p> <p>③ LEGOを組み立てて、解決するロボットを製作する。タブレットでプログラムを作成し、目標の動きになるように試行錯誤する。</p> <p>④ 友だち同士で動きを見せ合い、工夫点を言い合い、さらに動きを改善していく。</p> <ul style="list-style-type: none">○ 声を入れる○ モーターを回す方向を考える○ 何秒ぐらいモーターを回すか考える 等 <p>⑤ 地域のセンター長に来校いただき、課題を解決するロボットを披露してコメントをもらう。さらなる改善点を聞き、プログラムを改善していく。</p>
成果と課題	地域の課題をとらえ、それを解決するプログラミングにより自動で動くロボットの製作が意欲的にできていた。動きは、モーター1つのため限られたことが課題である。



沼島の課題を解決しよう

自分のつくったロボットのせつめいを書いて、発表しよう！

わたし(ぼく)が、かんがえる沼島の「かだい」は、いのししをこらえるようにです。

その「かだい」をかいつつするために、いのししおい出しロボットを作りました。

このロボットは、いのししを見つると、家のほうに来ないようにおいかけてつかまえてくれます。

いのししが来なくて安心して暮らそうな沼島になってほしいと思っています。